

2023年度 2年 国語科 シラバス

学習内容と評価規準(おおむね満足できる基準)・評価方法

単元	観点Ⅰ	観点Ⅱ	観点Ⅲ
	知識・技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
言葉を感じる	短歌という形式の特徴を理解する。 方言と共通語の違いや、それぞれの役割について理解している。 敬語の種類や、それらの使い方について理解している。	詩に描かれた情景や時の流れを捉え、最終連の意味を考えたとえで、読み取ったことを生かして音読している。 短歌の内容を捉え、音読して読み味わっている。 読み取ったことや想像したこと、表現の工夫など、鑑賞したことをまとめている。	筆者の考えを捉えることに心を持ち意欲的に文章を読むとしている。
感想を深める	部首の違いなど、形の似た漢字について理解している。 人物像を表す語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	事実と主観を聞き分け、相手の考えの根拠を吟味するとともに、聞き取ったことを踏まえて自分の考えを述べている。 言葉遣いや行動・態度に注意して、登場人物の思いを捉えている。 作品中の人物について、特徴を捉え、考えたことを挙げている。	進んで人物像や捉え方や多面性について理解し、学習課題に沿って人物像を捉えようとしている。
伝え方を工夫する	用言の六種類の活用形や、活用の仕方について理解している。 似た意味や反対の意味、思いがけない意味を持つ漢字について理解している。	文章のまとまりを捉えて、全体を要約するとともに、筆者の書き方の工夫について気づいたことを挙げている。 興味のあることをもとにテーマを設定し、さまざまな情報を集めて考えをまとめている。	進んで文章全体を要約したり、伝統を受け継ぐことの大切さや難しさについて考えたりする学習に関心を持ち、文書の構成に着目しながら読むとしている。
説得力を高める	四種類の助詞があることを知り、それぞれの働きについて理解している。 用言と体言の同訓異字を理解している。	自分の知識や体験と関連づけながら、論証を吟味したり、身近なことについて考えたりし、書いている。	同訓異字に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。
伝統文化を楽しむ	漢詩の形式を理解する。 話し言葉と書き言葉の違いや、それぞれの特徴について理解している。 助動詞の働きを知り、さまざまな種類の助動詞がそれぞれ異なる意味を持つことを理解している。	対句など特徴的な表現に注意して朗読・暗唱している。 与一の置かれていた状況や気持ちを捉えるとともに、当時の武士の生き方について読み取り、考えたことをまとめている。 描かれている情景や作者の心情を捉えるとともに、自然を表す表現の効果について気づいたことを挙げている。	古典の随筆やその筆者に興味や関心を持っている。 依頼状やお礼状を書く学習に関心を持ち、意欲的に書こうとしている。 作品のあらましや、武士の価値観・生き方について興味や関心を持っている。 漢詩に関心を持って繰り返し朗読し、暗唱しようとしている。
描写を味わう	類義語と対義語について理解している。 喜怒哀楽を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	詠んだ文章について、調べたことや話合ったことを踏まえ、自分の考えをまとめている。 場面ごとの人物や情景の効果的な描写に着目し、メロスのと王の人物像や、考えの変化を捉えている。 展開や表現の工夫について、具体的な箇所を指摘しながら、気づいたことや考えたことを挙げている。	場面の展開や表現の仕方の工夫について考える学習に関心を持ち、意欲的に作品を読むとしている。
効果的に表現する	事実の述べ方による、読み手に与える印象の違いや、その理由について考え、理解している。	作品を読み合い、発想の広げ方や、物語の流れ、描写などについて意見を述べたり、多様な発想や描写の工夫に気づいて考えを広げたりしている。 構成や表現の効果について考えて、より効果的に伝わるように記事を推敲している。 場面の情景をいきいきと、五感に訴えるように描き出すとともに、会話文や行動・態度の描写から人物の心情が伝わってくるように書いている。 主人公の人物像を捉え、感じたことや考えたことを挙げている。	同音異義語に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。
評価方法	・定期考査 ・プリント ・暗唱テスト ・漢字テスト ・確認小テスト など	・スピーチ ・聞き取りテスト ・定期考査 ・プリント ・作文 など	・提出物 ・授業に取り組む態度 ・振り返りシート など

2023年度 2年 社会科 シラバス

学習内容と評価規準(おおむね満足できる基準)・評価方法

単元	観点Ⅰ	観点Ⅱ	観点Ⅲ
	知識・技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
世界から見た日本の姿	○地形図の約束事を理解し、その知識を身に付けている。 ○地形図の適切な活用方法を身に付けている。 ○世界的視野からみた日本の国土の特色について理解し、その知識を身に付けている。 ○日本全体の視野からおおまかな国内の地域差について理解し、その知識を身に付けている。 ○様々な資料から、日本の国土の特色やおおまかな国内の地域差についての情報を適切に読み取っている。 ○読み取った情報を図版や文章などに適切にまとめている。	○地形図を適切に活用し、地形を読み解く力を身に付けている。 ○世界的視野からみた日本の国土の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ○日本全体の視野からおおまかな国内の地域差を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	○日本の略地図を描く活動に意欲的に取り組んでいる。 ○世界的視野や日本全体の視野から見た日本の地域的的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追及している。
戦乱から全国統一へ	○信長と・秀吉による統一事業とその当時の対外関係、戦国大名や豪商などの生活・文化の特色などの知識をもとに、中世社会の荘園制の崩壊と仏教勢力の衰退により、近世社会の基盤が作られたことを理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べ、まとめている。	○統一政権の諸政策が中世社会から近世社会への変化を導き、日本の政治や文化に与えた影響を考察するとともに、海外貿易の許可とキリスト教の禁止という相反する政策に気づかせ、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	○安土桃山時代に育まれた歌舞伎や茶の湯などの日本の伝統的文化が現代社会に受け継がれてきたことの意義について、主体的に追求しようとしている。
武士による支配の完成	○江戸幕府のしくみと大名統制、貿易統制、対外政策を理解し、知識を身に付けている。 OP.96図①の地図から、幕府の大名統制の狙いと方法を読み取っている。	○朱印船貿易から鎖国政策へと転換した理由について考察し、結果を適切に表現している。	○幕藩体制の特色や鎖国政策の狙いについて関心を高め、意欲的に追及している。
天下泰平の世の中	○江戸時代の人口構成の特色を理解し、身分制度の下、人々がどのような暮らしをしていたか理解し、知識を身に付けている ○幕府の文治政治への理解と、江戸時代の国内産業、米の生産量の増加、商業の発達と交通網の整備について読み取っている。 ○江戸時代前半の特色を政治や社会、産業、文化を通して理解し、その知識を身に付けている。	○幕藩体制の確立後、文治政治へ転換したことを理解し、朱子学を重視したわけを適切に表現している。 ○大阪が商業の中心として発達した理由を交通網の整備や江戸との関係、諸藩の蔵屋敷が置かれたことなどにふれて考察し、適切に表現している。 ○上方の町人が文化の担い手になった理由を、商業の発達や都市の繁栄などの面から考察し、適切に表現している。	○江戸時代の身分制度の下、どのような暮らしをしていたかについて、人口構成・農業の発達・進歩・交通網の整備と商業の発達、元禄文化の特色について意欲的に追及している。
社会の変化と幕府の対策	○徳川吉宗が財政の立て直しのために行った政策を文章から適切に読み取っている。 ○田沼意次と松平定信の政策の違いについて、表などで適切にまとめている。 ○百姓一揆や打ちこわしがどのようなことを背景として起こったか理解し、その知識を身に付けている。 ○幕末には文字を読める人の割合が高かった理由を寺子屋などの普及をもとに理解し、その知識を身に付けている。 ○国学や蘭学といった学問の発達によって、どのような時代の変化が生まれることになったか、自分の考えも含めて適切にまとめている。	○農村において貧富の格差が現れてきた理由を、貨幣を使う機会が増えたことなどをもとに考察し、適切に表現している。 ○田沼意次と松平定信の政策の違いについて考察し、適切に表現している。 ○印刷技術が人々に与えた影響について、浮世絵の流行や地方にも文化が伝わったことなどに着目して、考察し、適切に表現している。	○江戸時代の改革とその目的を理解し、農村にも貨幣経済が流入したことによる貧富の格差が拡大したことについて意欲的に追及している。 ○文化・文政期に、江戸を中心に娯楽性に富む、多彩な庶民文化が栄え、また、国学や蘭学などの学問や思想の中に、新しい社会を切り開く動きが生まれてきたことについて意欲的に追及している。
日本の地方のようす	○北海道地方、東北地方、関東地方、中部地方、近畿地方、中国・四国地方、九州地方の地域的的特色を、各地方に設定した考察の仕方をもとに理解し、その知識を身に付けている。 ○様々な資料から、日本の各地方の地域的的特色について情報を適切に読み取っている。 ○読み取った情報を、図版や文章などに適切にまとめている。	○北海道地方、東北地方、関東地方、中部地方、近畿地方、中国・四国地方、九州地方の地域的的特色を各地方に設定した考察の仕方をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	○日本の各地方に設定した考察の仕方に基づき、各地方の特色ある地理的事象や事柄を意欲的に追及している。 ○日本の各地方の地域的的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追及している。
身近な地域を調べてみよう	○市町村規模の地域の調査を行う際の視点や方法を身に付けている。 ○身近な地域の自然環境・産業・文化・歴史的背景などを概観し、身近な地域についての基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ○身近な地域に関する様々な資料を収集し、その資料から、身近な地域の地域的的特色についての情報を適切に読み取っている。 ○読み取った情報を、図版や文章などに適切にまとめている。	○身近な地域の地域的的特色を捉える適切な主題を設定している。 ○市町村規模の地域の調査を行う際の視点や方法をもとに、身近な地域の地域的的特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ○身近な地域の課題を見出し、地域の将来像などを考察している。	○市町村規模の地域の調査に対する関心を高め、身近な地域の地域的的特色を意欲的に追及している。 ○適切な主題の設定、調査方法の吟味、資料の収集と選択、調査活動、調査結果のまとめ、発表などを意欲的にやっている。 ○身近な地域の地域社会の形成に参画し、その発展に努力しようとしている。

欧米諸国における「近代化」	○イギリスの産業革命、米仏の市民革命、欧米の世界進出とアジアの状況について理解している。 OP.134図③の年表とP.141図④の地図から、欧米の近代化とアジア進出を読み取っている。	○産業革命や市民革命の背景と影響について考察し、結果を適切に表現している。	○欧米諸国で成立した近代社会の特質について関心を高め、意欲的に追及している。
新しい価値観のもので	○開国から明治維新への動き、明治政府の新政策、文明開化の実態について理解している。 OP.154 図①の銀座を描いた錦絵から、文明開化のようすを具体的に読み取っている。	○開国から明治維新にいたる経緯と新政府の課題を考察し、適切に表現している。	○欧米諸国との接触により生じた変化について関心を高め、意欲的に追及している。
近代国家への歩み	○沖縄県・北海道開拓と国境の画定、自由民権運動、憲法制定と国会開設を理解している。 OP.165 図②の自由民権運動の演説会の絵を読み取り、空欄に適切な台詞を入れている。	○近代国家としての国内整備と外交政策について考察し、適切に表現している。	○明治政府が進めた国内整備と外交政策について関心を高め、意欲的に追及している。
帝国主義と日本	○帝国主義の動向、日清・日露戦争と条約改正、韓国併合について理解している。 OP.174 図②とP.176 図①の風刺画を手掛かりに、日清・日露戦争の意味を読み取っている。	○日清・日露戦争の背景と内外への影響について考察し、適切に表現している。	○日清・日露戦争の背景と内外に与えた影響について関心を高め、意欲的に追及している。
評価方法	小テスト・定期テスト	授業プリント・定期テスト	授業プリント・ふりかえり

2023年度 2年 数学科 シラバス

学習内容と評価規準(おおむね満足できる基準)・評価方法

単元	観点Ⅰ	観点Ⅱ	観点Ⅲ
	知識・技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
1 章 文字式 を使っ て説明 しよう [式の計 算]	・簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができ ・具体的な事象の中の数量の関係を文字を使った式で表したり、式の意味を読み取ったりすることができる。 ・文字を使った式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解している。 ・目的に応じて、簡単な式を変形することができる。	・具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連付けて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。 ・文字を使った式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。	・文字を使った式の必要性和意味を考えようとしている。 ・文字を使った式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・文字を使った式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
2 章 方程式 を利用 して問 題を解 決しよ う [連 立方程 式]	・2元1次方程式とその解の意味を理解している。 ・連立2元1次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。 ・簡単な連立2元1次方程式を解くことができる。	・1元1次方程式と関連付けて、連立2元1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ・連立2元1次方程式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。	・連立2元1次方程式の必要性和意味を考えようとしている。 ・連立2元1次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・連立2元1次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
3 章 関 数を利用 して問題 を解決し よう [1 次関数]	・1次関数について理解している。 ・事象の中には1次関数として捉えられるものがあることを知っている。 ・2元1次方程式を関数を表す式とみることができる。 ・1次関数の変化の割合やグラフの切片と傾きの意味を理解している。 ・1次関数の関係を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。	・1次関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 ・1次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。	・1次関数の必要性和意味を考えようとしている。 ・1次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・1次関数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
4 章 図形の 性質の 調べ方 を考え よう [平行と 合同]	・多角形の角についての性質が見いだせることを知っている。 ・平行線や角の性質を理解している。 ・平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解している。 ・証明の必要性和意味及びその方法について理解している。	・基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質をもとにしてそれらを確かめ、説明することができる。	・証明の必要性和意味及び証明の方法を考えようとしている。 ・平面図形の性質について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

5 章 図形の性質を見つけて証明しよう [三角形と四角形]	・証明の必要性和意味及びその方法について理解している。 ・定義やことからの仮定と結論, 逆の意味を理解している。 ・反例の意味を理解している。 ・正方形, ひし形, 長方形が平行四辺形の特別な形であることを理解している。	・三角形の合同条件などをもとにして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 ・証明を読んで新たな性質を見だし, 表現することができる。 ・三角形や平行四辺形の基本的な性質などを活用して具体的な事象を考察し, 表現することができる。 ・ことがらが正しくないことを証明するために, 反例をあげることができる。	・証明の必要性和意味及びその方法を考えようとしている。 ・平面図形の性質や図形の合同について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
6 章 起こりやすさをとらえて説明しよう [確率]	・多数回の試行によって得られる確率と関連付けて, 場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を理解している。 ・簡単な場合について確率を求めることができる。	・同様に確からしいことに着目し, 場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考察し表現することができる。 ・確率を用いて不確定な事象を捉え, 考察し表現することができる。	・場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を考えようとしている。 ・不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
7 章 データを比較して判断しよう [データの比較]	・四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解している。 ・コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し箱ひげ図で表すことができる。	・四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り, 批判的に考察し判断することができる。	・四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を考えようとしている。 ・データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・四分位範囲や箱ひげ図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
評価方法	授業での提出物など、考査	授業での提出物など、考査	授業での提出物など、考査

2023 年度 2年 理科 シラバス

学習内容と評価規準(おおむね満足できる基準)・評価方法

単元	観点Ⅰ	観点Ⅱ	観点Ⅲ
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
化学変化と原子・分子	化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、物質の分解、原子・分子、化学変化、化学変化と質量の保存、質量変化の規則性、化学変化と熱についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	物質のなり立ち、化学変化、化学変化と物質の質量、について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質やその量的な関係の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	物質のなり立ち、化学変化、化学変化と物質の質量に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
生物のからだのつくりとはたらき	生物のからだのつくりとはたらきとの関係、植物のからだのつくりとはたらきとの関係、動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、生物と細胞、葉・茎・根の つくりとはたらき、動物が生命を維持するはたらき、刺激と反応についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	生物と細胞、植物のからだのつくりとはたらき、動物が生命を維持するはたらき、刺激と反応について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物のからだのつくりとはたらき、植物のからだのつくりとはたらき、動物の体のつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	生物と細胞、植物のからだのつくりとはたらき、動物が生命を維持するはたらき、刺激と反応に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
天気とその変化	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象要素、気象観測、気象観測、霧や雲の発生、前線の通過と天気の変化、日本の天気の特徴、大気動きと海洋の影響、自然の恵みと気象災害などについての基本的な概念や原理・などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	気象観測、天気の変化、日本の気象、自然の恵みと気象災害について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化、日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	気象観測、天気の変化、日本の気象、自然の恵みと気象災害に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
電気の世界	静電気、電流、電流と磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、静電気と電流の性質、回路と電流・電圧、電流・電圧と抵抗、電気とそのエネルギー、磁界と磁力線との関係、電流の磁気作用についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	静電気、電流、電流と磁力線との関係、電流の磁気作用について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、静電気と電流の性質や規則性、電流と電圧の規則性や関係性、電流と磁界の関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	静電気、電流、電流と磁界に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価方法	定期テスト 観察や実験の実技テスト レポート 授業プリント 観察や実験の様子	課題 レポート(内容) 定期テスト	授業プリント 提出物(小テストも含む) 課題 授業での取り組みの様子 片付け

2023年度 2年生 音楽科 シラバス

学習内容と評価規準(おおむね満足できる基準)・評価方法

単元	観点Ⅰ	観点Ⅱ	観点Ⅲ
	知識・技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
歌唱 翼をください	様々な歌唱形態や声部に関する知識を身につけている。 各声部の役割を理解して自分の声部を他声部とともに歌うことができる。	音色、テクスチャの変化とイメージのかかわりを説明することができる。 ピアノ伴奏の変化を説明することができる。	まわりの声を聴きながら歌っている。 まわりの意見を参考に自分の考えを深め、具体的な説明を書いている。 自分の役割を考え、そのためにどうすべきかを具体的に書いている。
歌唱 夢の世界を	各声部の役割を理解して自分の声部を他声部とともに歌うことができる。	音色、テクスチャの変化とイメージのかかわりを説明することができる。 リズムの変化とイメージのかかわりを具体的に説明することができる。	まわりの声を聴きながら歌っている。 まわりの意見を参考に自分の考えを深め、具体的な説明を書いている。 自分の役割を考え、そのためにどうすべきかを具体的に書いている。
鑑賞 交響曲第5番 ハ短調	作曲者や曲の構造について正しい知識を身につけている。	各主題の音色、旋律、リズム、テクスチャと音楽から生まれるイメージとのかかわりを説明することができる。	まわりの意見を参考に自分の考えを深め、具体的な説明を書いている。
指揮	基本的な動きを身につけている。 強弱、リズムにあわせて動きを工夫し、体で表現することができる。	曲想にあった指揮をするためにどのような動きをすればよいか、図や言葉で説明することができる。	まわりの意見や動きを参考に自分の考えを深め、具体的な説明を書いたり、体で表現しようとしたりしている。
歌唱 夏の日の贈りもの	様々な歌唱形態や声部に関する知識を身につけている。 各声部の役割を理解して自分の声部を他声部とともに歌うことができる。	音色、テクスチャ、強弱の変化と歌詞のかかわりを説明することができる。	まわりの声を聴きながら歌っている。 まわりの意見を参考に自分の考えを深め、具体的な説明を書いている。 自分の役割を考え、そのためにどうすべきかを具体的に書いている。
歌唱 夏の思い出	作詞作曲者について正しい知識を身につけている。 情景に合わせて強弱をつけて歌うことができる。	歌詞の意味を理解し、情景やそれを見ている人の気持ちと強弱、リズム、旋律とのかかわりを説明することができる。	まわりの意見を参考に自分の考えを深め、具体的な説明を書いている。
歌唱 サンタルチア	音楽記号の読み方や意味を理解している。 強弱変化をつけて独唱にふさわしい豊かな発声で歌うことができる。	音色、強弱、リズム、旋律の変化を具体的に説明することができる。	まわりの意見を参考に自分の考えを深め、具体的な説明を書いている。 まわりからのアドバイスを生かして自分の演奏の改善につなげている。
創作 リズムアンサンブル	音符、休符の名前や長さについて正しい知識を身につけている。 音符をよんでリズム打ちをすることができる。	ことばのリズムを音符や休符を使って表すことができる。 リズムにあったことばを考えることができる。 リズム、テクスチャと表現したい物語とのかかわりを考えながら創作し、その説明をすることができる。	まわりの意見を参考に自分の考えを深め、具体的な説明を書いている。 グループの話し合いに積極的に参加し、表現したい物語やそのために必要なリズムやテクスチャを考え、意見をだしている。
鑑賞 フーガ ト短調	作曲者や曲の構造、楽器の構造について正しい知識を身につけている。	音色、形式構成と音楽から生まれるイメージとのかかわりを説明することができる。	まわりの意見を参考に自分の考えを深め、具体的な説明を書いている。
歌唱 混声合唱	様々な歌唱形態や声部に関する知識を身につけている。 各声部の役割を理解して自分の声部を他声部とともに歌うことができる。 演奏順序を表す記号の意味と楽譜の見方を理解している。	音色、テクスチャの効果を考え、どのように工夫するかを考え説明している。	まわりの声を聴きながら歌っている。 まわりの意見を参考に自分の考えを深め、具体的な説明を書いている。 自分の役割を考え、そのためにどうすべきかを具体的に書いている。
器楽 アルトリコーダー	アルトリコーダーの各部の名称を理解している。 運指、息づかい、アーティキュレーションの工夫をして美しい音色で吹くことができる。 高い音と低い音の息づかいを工夫して吹き分けることができる。	曲想にあったアーティキュレーションを考え、その理由を説明することができる。 高い音と低い音をそれぞれ美しい音色で演奏するための工夫を具体的に説明することができる。	どのような工夫をすれば美しい音色で演奏できるか等、まわりの意見を参考に自分の考えを深め、具体的な説明を書いている。
評価方法	小テスト、プリント、実技テスト	小テスト、プリント	プリント、授業の様子

2023年度 2年 美術科 シラバス

学習内容と評価規準(おおむね満足できる基準)・評価方法

単元	観点Ⅰ	観点Ⅱ	観点Ⅲ
	知識・技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
絵画分野	・形や色彩、材料、光などの性質やそれらが感情にもたらす効果などを理解している。 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 ・材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 ・材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。	・対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。
デザイン 工芸分野	・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えること理解している。 ・材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 ・材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。	・構成や装飾の目的や条件などを基に、用いる場面や環境、社会との関わりなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練っている。 ・伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容、社会との関わりなどから主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。 ・使う目的や条件などを基に、使用する者の立場、社会との関わり、機知やユーモアなどから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。	・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に目的や機能などを考えた表現の学習活動に取り組もうとしている。
鑑賞分野	・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えること理解している。	・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 ・目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 ・身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めている。 ・日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質などから、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気付き、美術を通した国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深めている。	・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に作品や美術文化などの鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価方法	授業プリント 課題プリント 作品	授業プリント 課題プリント 作品	授業プリント、課題プリント、作品の仕上がり度(計画的に課題を完成させられるか) 課題の提出状況 毎時の振り返り

2023年度 2年 保健体育科 シラバス

学習内容と評価規準(おおむね満足できる基準)・評価方法

単元	観点Ⅰ	観点Ⅱ	観点Ⅲ
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体づくり運動	○知識 ・体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。	・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・体づくり運動に積極的に取り組もうとするとともに、仲間の学習を援助しようとする、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとする、話合いに参加しようとするなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。
器械運動	○知識 ・器械運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。 ・鉄棒運動では、支持系や懸垂系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。 ・跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うことができる。	・技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・器械運動に積極的に取り組もうとするとともに、よい演技を認めようとする、仲間の学習を援助しようとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。

陸上競技	○知識 ・陸上競技について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・短距離走・リレーでは、滑らかな動きで速く走ることやバトンの受渡してタイミングを合わせることができる。 ・長距離走では、ペースを守って走ることができる。 ・ハードル走では、リズムカルな走りから滑らかにハードルを越すことができる。 ・走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から素早く踏み切って跳ぶことができる。 ・走り高跳びでは、リズムカルな助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶことができる。	・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・陸上競技に積極的に取り組もうとするとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。
水泳	○知識 ・水泳について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。 ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐことができる。 ・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。	・泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・水泳に積極的に取り組もうとするともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをしたり、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ったりしている。

球技	○知識 ・球技について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。 ・ネット型では、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ベースボール型では、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。	・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・球技に積極的に取り組もうとするとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助しようとするなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。
武道	○知識 ・武道について、技ができる楽しさや喜びを味わい、武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・柔道では、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防をすることができる。 ○剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができる。	・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・武道に積極的に取り組もうとするとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをしたり、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ったりしている。
ダンス	○知識 ・ダンスについて、感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・創作ダンスでは、多様なテーマから表したいイメージを捉え、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ることができる。 ・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊ることができる。	・表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・ダンスに積極的に取り組もうとするとともに、仲間の学習を援助しようとする、交流などの話合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとするなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。

体育理論	・運動やスポーツは、身体の発達やその機能の維持、体力の向上などの効果や自信の獲得、ストレスの解消などの心理的効果及びルールやマナーについて合意したり、適切な人間関係を築いたりするなどの社会性を高める効果が期待できることを理解している。 ・運動やスポーツには、特有の技術があり、その学び方には、運動の課題を合理的に解決するための一定の方法があることを理解している。 ・運動やスポーツを行う際は、その特性や目的、発達の段階や体調などを踏まえて運動を選ぶなど、健康・安全に留意する必要があることを理解している。 ※体育理論については「技能」に係る評価の対象がないことから、「技能」の評価規準は設定していない。	・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断しているとともに、他者に伝えている。	・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての学習に積極的に取り組もうとしている。
保健	・健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。また、疾病は、主体の要因と環境の要因が関わり合って発生することを理解している。 ・健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があることを理解している。 ・交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因や環境要因などが関わって発生することを理解している。 ・交通事故などによる傷害の多くは、安全な行動、環境の改善によって防止できることを理解している。 ・自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じること。また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できることを理解している。 ・応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができることを理解しているとともに、心肺蘇生法などの技能を身に付けている。	・傷害の防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。	・傷害の防止についての学習に自主的に取り組もうとしている。
評価方法	・小テスト ・単元テスト ・単元レポート ・実技テスト	・単元レポート ・授業プリント ・小テスト	・単元レポート ・授業の取り組みの様子など ・授業の欠席、見学、遅刻、忘れ物など

2023年度 2年 技術科 シラバス

学習内容と評価規準(おおむね満足できる基準)・評価方法

単元	観点Ⅰ	観点Ⅱ	観点Ⅲ
	知識・技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
C エ ネ ル ギ ー 変 換 の 技 術	・社会で利用されているエネルギー変換の技術について理解している。 ・エネルギー変換の技術の工夫や果たす役割と響に気づいている。 ・電源の種類や特徴を理解し、電気エネルギーを変換して利用する仕組みや変換方法を理解している。" ・動力を伝える仕組みとその特徴を理解し、運動を変化させる仕組みや利用方法、その特徴について理解している。" ・機器の構造や各部の働き、保守点検や事故防止などの安全等について、適切な使用方法を理解している。 ・組立てや調整に必要な工具や機器を適切に使用することができ、設計に基づいて、安全に製作品の組立て・調整、配線や点検等を行っている。 ・エネルギー変換の技術の見方・考え方を働かせて問題を発見することができる。 ・使用の目的や条件によって、適切な設計要素や変換方法などを決め、省資源や安全に配慮し、新しい発想を生み出そうとしている。	・エネルギー変換の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだして課題を設定し 解決できる力が見られる。 ・電気、運動、熱などについての科学的な原理・法則の理解と、エネルギーの変換や伝達などの基礎的な技術の仕組みの理解している。 ・エネルギー変換の技術に込められた工夫を読み取る力ができている。 "	・電気、運動、熱などについての科学的な原理・法則の理解している ・エネルギーの変換や伝達などに関わる基礎的な技術の仕組みの理解している。 ・エネルギー変換の技術に込められた工夫を読み取れている。 ・エネルギー変換の技術の見方や考え方の気付き、進んでエネルギー変換の技術と関わり、主体的に技術を理解し、技能を身に付けようとする態度がみられる。 ・安全・適切な製作、実装、点検及び調整等ができる技能と、自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとする態度ができる。 ・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を評価し、適切に選択、管理・運用したり、新たな発想に基づいて改良、応用したりする力と、技術を工夫し創造しているようとする態度がみられる。 ・進んでエネルギー変換の技術と関わり、主体的に技術を理解し、技能を身に付けようとする態度。
評 価 方法	授業プリント 課題プリント 作品 発問や課題に対する発表 定期テスト 小テスト	授業プリント 課題プリント 授業・実習中の活動態度 発問や課題に対する発表 定期テスト 作品	授業・実習準備 (授業の準備物・チャイム着席) 授業プリント 課題プリント 授業・実習中の活動態度 発問や課題に対する発表 定期テスト

2023年度 2年 家庭科 シラバス

学習内容と評価規準(おおむね満足できる基準)・評価方法

単元	観点Ⅰ	観点Ⅱ	観点Ⅲ
	知識・技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
衣食住の生活	- 生活の中で食事が果たす役割について理解している。 - 中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康によい食習慣について理解している。 - 栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について理解している。 - 中学生の1日に必要な食品の種類と概量が分かり、1日分の献立作成の方法について理解している。 - 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解しているとともに、適切にできる。 - 食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 - 材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 - 地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。 - 家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解している。 - 家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	- 自分の食習慣について問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 - 中学生の1日分の献立について問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 - 日常の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 - 家族の安全を考えた住空間の整えについて問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	- よりよい生活の実現に向けて、食事の役割と中学生の栄養の特徴について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 - よりよい生活の実現に向けて、中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 - 家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、日常食の調理と地域の食文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 - 家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評価方法	- 授業プリント ・課題プリント - 作品 - 発問や課題に対する発表 - 実技テスト - 定期テスト ・小テスト	- 授業プリント ・課題プリント - 授業・実習中の活動態度 - 発問や課題に対する発表 - 定期テスト ・作品	- 授業・実習準備 (必要物の準備・チャイム着席) - 授業プリント ・課題プリント - 授業・実習中の活動態度 - 発問や課題に対する発表 - 定期テスト

2023 度 2 年 英語科 シラバス

学習内容と評価規準(おおむね満足できる基準)・評価方法

単元	観点Ⅰ	観点Ⅱ	観点Ⅲ
	知識・技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
Unit 0 My Spring Vacation	(知識) 過去形や過去進行形, There [are] … の形・意味・用法を理解している。	思い出を伝える為に自分の経験について簡単な語句や文を用い書いたり話したりする。	思い出を伝えるため、自分の経験について、簡単な語句や文を用いて書いたり話したりする。
Unit 1 A Trip to Singapore	be going to や助動詞 will を用いた文、SVOO,SVOC の文の形・意味・用法を理解して、予定や意思、予測など伝え合ったり、名所の紹介や旅行の報告について文章の内容を読み取ったりする技能を身につけている。	お互いの予定や観光名所の特徴、旅行の楽しさなどを知るために、予定について伝え合ったり、名所の紹介文や旅行の報告についての文章の概要を捉えたりしている。	お互いの予定や観光名所の特徴、旅行の楽しさなどを知るために、予定について伝え合ったり、名所の紹介文や旅行の報告についての文章の概要を捉えたりしている。
Let's Talk 1 ホテルでのトラブル	苦情を言う時や謝罪する時の表現の意味を意味や働きを理解し、ホテルでのトラブルについて、苦情を言う時や謝罪をする時の表現を用い状況を伝えたり謝ったりする技能を身につけている。	ホテルでのトラブルを解決できるように、状況を整理して、相手が理解しやすいように伝えたり、誤ったりしている。	ホテルでのトラブルを解決できるように、状況を整理して、相手が理解しやすいように伝えたり、謝ったりしている。
Grammar for Communication 1	5つの文構造の形・意味・用法を理解している。動詞の種類や伝えたい内容に合わせて、適切な構造の文を使い分ける技能を身につけている。		
Learning Home Economic for in English 技術・家庭	食費や食品表示に用いられている語彙を理解して、海外の商品について、英語で書かれた食品表示を理解し、お土産として誰にあげたかを考えて発表する技能を身につけている。	相手に合ったお土産を選ぶために、英語で書かれた食品表示を理解し、誰にあげたかを考えて理由とともに発表している。	相手に合ったお土産を選ぶために、英語で書かれた食品表示を理解し、誰にあげたかを考えて理由とともに発表している。
Let's Listen 1 機内放送	予定などを伝える表現の意味や働きを理解して、近い未来の情報について話されている内容を捉える技術を身につけている。	飛行機に搭乗している状況で、機内放送から必要な情報を聞き取っている。	飛行機に搭乗している状況で、機内放送から必要な情報を聞き取ろうとしている。
Unit 2 Food Travel s Around the World	接続詞 when, if, that, because を用いた文の形・意味・用法を理解し、それらの接続詞を用いた文の形・意味・用法を理解したり伝えたりする技能を身につけている。	料理や食文化について伝え合うために、好きな食べ物やレストランとおすすめの理由などについて書かれた文章の概要を捉えたり、自分の考えを表現している。	料理や食文化について伝え合うために、好きな食べ物やレストランとおすすめの理由などについて書かれた文章の概要を捉えたり、自分の考えを表現し用としている。
Let's talk 2 丁寧なお願い	丁寧に許可を求める表現や依頼する表現の意味の働きを理解し、相手にしてほしいことについて、丁寧に許可を求める表現や依頼する表現を用いて、伝えたり答えたりする技能を身につけている。	相手や場面に応じて、丁寧に許可を求めたり、依頼したりしている。	
Grammar for Communication 2	接続詞を用いた文の働きを理解している。	接続詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。	2つ以上の文を理解し、接続詞を運用している。
学び方コーナー①			音とつづりと意味の知識を活用している。
Let's Listen 2 インタビュー	時や理由を伝える表現の意味や働きを理解している。	職場体験場面でインタビュー場面の要点を捉えている。	職場体験場面でインタビュー場面の要点を捉えようとしている。
Unit 3 My Future Job 技術・家庭	不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。	自分の将来像や夢や職業を伝えたり、書かれた文章を捉えたり、自分のことを説明できる。	自分の将来像や夢や職業を伝え合うために夢や夢実現のために説明しようとしている。
Let's Write 1 留守番電話 のメッセージへの返信	電子メールの構成や表現を理解している。	留守番電話で聞いたメッセージに対して返信メールを書いている。	留守番電話で聞いたメッセージに対して返信メールを書こうとしている。
Grammar for Communication 3	不定詞で書かれた文の形・意味・用法を理解し身につけている。		
Learning TECHNOLOGY in English 技術・家庭	スマートホンなどの情報技術に関する語彙を理解し語彙を用いてやり取りできる。	情報技術の活用の仕方を考え短所を理解しやり取りしている。	情報技術の活用や長所・短所を理解し、やり取りや書いたりできる。
Stage Activity 1 A Message to Myself in the Future	Unit3 までの学習事項の文の形・意味・用法を理解して未来の自分へのメッセージを書くことができる。	10年後の自分に向いている仕事を理由とともに自分へのメッセージが欠けている。	10年後の自分の仕事について、意見交換をして、整理して書こうとしている。
Let's Read 1 History of Clocks	時間の経過を表す語句の意味や働きを理解している。	時計が発展してきた歴史の概要を捉えている。	時計が発展してきた歴史の文章の概要を捉えようとしている。
Let's Listen 3 天気予報	未来を表す表現の意味の働きを理解し、天気予報の内容を聞き取ることができる。	週末の予定を立てるために天気予報から聞き取れる。	天気予報から週末の予定や行先の情報を聞き取ろうとしている。

Unit 4 Homestay in the United States	have to, must,動名詞の形・意味、用法を理解し、事実や気持ちを伝えれる。	習慣やマナーの概要を捉えてアドバイスも伝えられる。	日米の生活や習慣の違いを知り、習慣やマナーの文章の概要を捉えアドバイスもできる。
Let's Write 2 ホームステイのお礼状	手紙を書く際の基本的な構成を理解し、相手への気持ちを伝える技能がある。	お世話になった人への感謝の手紙を整理して書いている。	お世話になった人への感謝や思い出の手紙を整理して書くとしている。
Grammar for Communication 4	助動詞を用いた文の形・意味・用法を理解し、幅のある表現の技能を身につけている。		
学び方コーナー②	聞き手にわかるように音読に工夫している。		
Let's Listen 4 電車の運行情報	運行情報の表現、路線や行き先を表す表現を理解し、内容を聞き取る技能を身につけている。	電車が遅延している状況で運行状況をアナウンスから聞き取っている。	電車が遅延している状況で運行状況をアナウンスから聞き取っている。
Unit 5 Universal Design 技術・家庭	疑問詞+to や主語+be 動詞+形容詞+that の形・意味・用法を理解し確信や喜びの気持ち表す技能を身につけている。	誰もが暮らしやすい社会について書かれた文章を読んだり概要を捉え、やりたいことのアイデアを出し合っている。	誰もが暮らしやすい社会についての身近なことや、人の功績や書かれた文章の概要を伝え合ったりしている。
Let's Talk 3 電車の乗り換え	乗り物で行き方や乗り換えの表現を理解したり活用している。	乗り物で目的地に到着や生き方を尋ねたり答えたりしている。	乗り物で目的地に到着や生き方を尋ねたり答えようとしている。
Let's Listen 5 留守番電話	電話での対応で用いる表現や意味を理解して、留守番電話のメッセージの内容を聞き取れる。	待ち合わせの約束をしたり伝えたりでき、留守番電話のメッセージの内容を聞きとっている。	待ち合わせの約束をしたり伝えたりでき、留守番電話のメッセージの内容を聞きとろうとしている。
Unit 6 Research Your Topic	比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解し伝える技能を身につけている。	調査や発表の効果的なやり方について比較し、その調査結果や意見を伝え合ったりしている。	調査や発表の効果的なやり方について比較し、その調査結果や意見を伝え合ったりし用としている。
Let's Talk 4 買い物	好みや要望を伝える表現の意味を理解し、買い物のやり取りをする技能を身につけている。	買い物で自分の好みや要望を伝えている。	買い物で自分の好みや要望を伝えようとしている。
Grammar for Communication 5	比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解し形や性質等を比較し伝える技能を身につけている。		
Stage Activity 2 Research and Presentation	Unit6 までの学習事項を理解しクラスでの人気あるものについて調査し、結果をまとめて、発表する技能を身につけている。	聞き手のことを考え、クラスでの人気のあるものを調査し、結果をまとめて発表している。	聞き手のことを考え、クラスでの人気のあるものを調査し、結果をまとめて発表しようとしている。
学び方コーナー			あるテーマについて、自分の賛成や反対の意見を効果的に伝えようとしている。
Let's Read2 A Glass of Milk	場面や登場人物の心情を表す表現を理解し物語の流れに沿って登場人物の心情の変化を読み取っている。	気持ちを込めて音読でき、物語の場面や登場人物の心情の変化を読み取っている。	気持ちを込めて音読でき、物語の場面や登場人物の心情の変化を読み取ろうとする。
Let's Listen 6 商品のコマーシャル	2つ以上のものを比べる表現の意味や働きを理解している。	2つ以上のものを比べる表現の意味や働きを理解し、商品についてのコマーシャルの内容を聞き取る技能を身につけている。	購入する商品や新商品についてのコマーシャルを聞き、特徴などの必要な情報を聞き取っている。
Unit 7 World Heritage Sites	受け身の文の理解とともに、世界遺産などの事実などを整理し、理解したり伝えたりする技能を身につけている。	世界遺産の特徴を知り、その価値を考えたり、事実を整理し紹介された文章の整理をしたり、調べたことを紹介したりしている。	世界遺産の特徴を知り、その価値を考えたり、事実を整理し紹介された文章の整理をしたり、調べたことを紹介したりしている。
Let's Talk 5 電話でのやり取り	電話での対応の表現や好み・要望を伝える表現の意味や働きを理解し、電話での要件を伝えたり答えたりする技能を身につけている。	電話で待ち合わせの約束などができ、自分の好みや要望を伝えながら、要件を伝えたり答えたりしている。	電話で待ち合わせの約束などができ、自分の好みや要望を伝えながら、要件を伝えたり答えようとしている。
Grammar for Communication	受け身の意味の文の形・意味・用法を理解し、身の回りのことや人について、受け身を用い、異なる視点で情報を伝える技能を身につけている。		
Let's listen 7 店内のアナウンス	イベントの情報などを伝える表現の意味や働きを理解し、アナウンスの内容を聞き取る技能を身につけている。	行きたい場所とその理由を考えられるように、イベント情報のアナウンスを聞いて、要点を捉えている。	行きたい場所とその理由を考え、イベント情報についてのアナウンスを聞いて、要点を捉えようとしている。
Stage Activity 3 My Favorite Place in our Town	Unit 7 までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解し、自分の町のおすすめの場所についての特徴や良い点を整理し伝えたり、質問に答えたりする技能を身につけている。	ALT の先生に町のおすすめの場所を紹介するために、その場所の特徴や良い点を整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	ALT の先生に町のおすすめの場所を紹介するために、その場所の特徴や良い点を整理して伝えたり、相手からの質問に答えようとしている。
Let's Read 3 Picture and Our Beautiful Planet	時系列を表す文章構成や語句を理解し、ある人物の生涯について書かれた文章の内容を読み取る技能を身につけている。	文章の大きな流れを時系列に沿ってまとめたり、そこからわかる環境問題について考えを伝え合ったりするために、ある人物の生涯について書かれた文章の概要を捉えている。	文章の大きな流れを時系列に沿ってまとめたり、そこからわかる環境問題について考えを伝え合ったりするために、ある人物の生涯について書かれた文章の概要を捉えようとしている。
評価方法	定期テスト、小テスト 提出物	定期テスト、実技テスト、提出物	実技テスト、提出物、 授業ふり返り

